

第四次嬭恋村総合計画

* 計画策定の背景

現在、嬭恋村を取り巻く環境は大きく変化しています。少子高齢化の進行、情報化社会への移行、安全・安心への意識の高まりなど、価値観や生活様式の変化により、村民意識の多様化、行政需要の高次元化への対応が重要な課題となっています。

* ともに考え、ともにつくろう ほこれる嬭恋

総合計画は、より良い村づくりを総合的・計画的に進めるための村政の基本方針を示すもので、村の最上位計画と位置付けられています。また村民に対して、これからの村づくりの基本的な方向と実現のための施策等を明らかにすることにより、村政に対する理解と積極的な参加を要請し、村民と行政が一体となった村づくりを推進していくものです。

* 活力と魅力あふれる「ふるさと嬭恋」

私たちは嬭恋村の恵まれた自然条件と豊富な地域資源の恩恵によって産業や歴史を育んできました。このことを再認識し、自然環境との共生を図りながら「住んでいて良かった、住みたくなる村、嬭恋」をアピールし、次世代に引き継いでいかななくてはなりません。

基本構想 2001年～2010年(10年間)



I. 自然と人々が共生する村づくり



パノラマライン



吾妻川



花いっぱいの国道144号線

嬭恋村は、日本百名山中、本白根山・吾妻山(四阿山)・浅間山の三名山を有し、上信越高原国立公園に指定され、雄大で美しい自然景観は訪れる人に感銘とやすらぎを与えてくれます。このように豊かな自然環境に恵まれ、その自然環境の保全は未来へ向けて取り組まなければならない最重要課題といえます。

農業と観光の村としていっそうの飛躍が求められている嬭恋村では、農業に関しては表土流出防止のためのグリーンベルト(植栽帯)の設置や、観光保全型農業を目指します。また「観光の村嬭恋」にふさわしい街道づくりや、各地区を特徴づける景観の形成および雄大な眺望景観の保全、さらに別荘地としての望ましい景観形成や、歴史文化的景観の保全に努めています。





万座・鹿沢口駅前の桜並木



国道144号線と大平橋

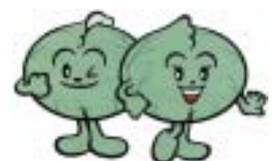


除雪作業

本村の道路は国道144号線を中心に県道・主要村道で集落間が結ばれ、集落内では生活道や農道が配されています。また、周辺市町村との連絡には前記道路のほか主要地方道・有料道路があり、道路網の基礎が形成されています。

道路は生活上の重要な基礎施設であり、歩道の整備なども含め、安全性・快適性・機能性の向上と改良が常に求められています。また、老朽化による路面損傷なども多く、計画的な整備が必要となっています。冬場の除雪等に関しても、より高度な管理が求められており、改良整備とあわせて維持管理を充実させていく必要があります。

さらに、地域高規格道路(上信自動車道)が全線開通すると嬭恋村の活性化にとって非常に大きな効果が生み出されます。このため、嬭恋村のいっそうの飛躍に向け、地域高規格道路の早期全線開通が強く望まれます。そして、地域高規格道路にアクセスしやすい安全で快適な道路網整備と、美しい道路景観整備が求められています。



Ⅲ. 健康をみんなでささえる村づくり



中学生と幼稚園児の交流



ボランティアによる作業

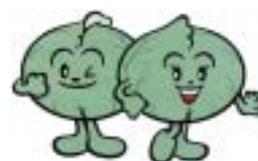


特定検診

少子・高齢社会の到来や、社会・経済構造の変化に伴い地域福祉を取り巻く環境も大きく変化しています。

孺恋村では、次代を担う子ども達が健全に成長していけるように地域全体で支える子育て支援体制の整備や保育環境の充実に努めるとともに、高齢者が健康に安心して暮らせるような自立支援対策や介護保険制度の充実を図ります。また、障害のある方等に対しても福祉サービスの専門性を図り、活用しやすい支援体制を整えています。

誰もが地域においていきいきと自立した生活を送るためには、行政や民間組織のサービスだけでなく、地域住民が共に支え合う社会づくりを具体化していく必要があります。様々な福祉施策を展開していく中で、地域福祉活動の推進(「福祉コミュニティづくり」の支援)にも努めています。





歯磨き指導

長寿・高齢化時代の今日、医療体制の充実
は、安心して暮らすためには欠くべからざる事項で
あり、事実、この分野への整備を望む声も村民
から多く聞かれます。

孺恋村では、村内の医療機関や西吾妻4カ町
村で開設した西吾妻福祉病院と連携を図りなが
ら、地域における適正な医療の確保を目指す
とともに、在宅医療・予防医療の充実など、医療サ
ービス体制の向上に努めています。

また、未整備専門医の確保や(小児)救急医療
体制の整備充実、予防活動の充実による保険
事業の適正な運営も努めています。



孺恋村国保診療所



AED講習



Ⅲ. 心と文化をはぐくむ村づくり



ALTによる英語授業



情報教育

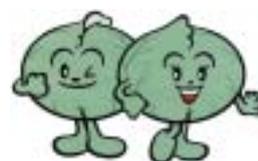


環境教育(郷土美化)

今日のわが国における国際化・情報化・少子高齢化、さらには自然環境の悪化など社会の急激な変化は、教育環境や子どもたちの意識に大きな影響をもたらしています。こうした社会の変化に対応するために「生きる力」をはぐくむことが重要です。

そこで、21世紀の「孺恋の教育」は、豊かな心・豊かな体力・豊かな学力を身に付け、村民憲章が求める人間性豊かな孺恋村民の育成が最大の課題であり、この課題実現に向けて、教育基本法・学習指導要領・幼稚園教育要領の趣旨に基づき、群馬県教育行政方針並びに孺恋村総合計画を踏まえた、孺恋の教育5か年計画を推進しています。

「孺恋の教育」推進の目標として、「学校づくり」「家庭づくり」「地域づくり」を柱に生涯学習の視点に立って、教育環境の充実に努め、人間性豊かな孺恋村民の育成を目指して次のことを施策の重点として、村ぐるみの教育行政を推進しています。





町村連携講座(竹細工)

教育を地域づくりの要としてとらえ、婦恋村民の誰もが、生きがいと幸せを求め、いつでもどこでも誰もが学習できる明るい村づくりと、豊かな人生を送るための生涯学習意識の醸成が益々大切な時代になってきました。学習成果を地域社会の中で活かし、少子高齢化社会に対応した社会参加ができるよう学習機会を確保し、公民館活動や文化団体の自主活動への支援、スポーツ活動においても村内施設の有効利用のための情報提供など、生涯学習のさらなる充実に努めています。



みどりマラソン



放課後子ども教室



IV. 魅力と活力にあふれる村づくり



キャベツ品種検討会

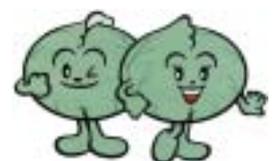
孺恋村は全国でも有数の夏秋キャベツの大産地として知られていますが、近年、生産コストの上昇・病害・不安定な市況など様々な問題も抱えています。そこで、生産体制の改善や環境保全型農業の推進と併せ安定的な経営体制の整備を目指しています。孺恋村はキャベツだけでなく雄大な自然や歴史・文化遺産を積極的に活用し、新たな観光・リゾート地としての魅力を打ち出していきます。また、イベントの実施や積極的なPR活動により、村外にむけての情報発信も促進しています。



キャベツの定植風景



キャベツ畑と浅間山





孀恋村生活研究グループ



孀恋村生活研究グループの活動



郷土料理教室による千代田区との交流

孀恋村の商業は買い物が日用品以外は村外で購入する傾向が強いため、村内で買い物がしたくなるような魅力ある商業に向けた環境整備を進めています。また、工業は建設業や製造業で主に構成されていますが、商業とともに一層の経営基盤の強化を図ります。孀恋村の労働・雇用環境は社会情勢の変化に伴い、厳しい雇用情勢が続いていることを受け、雇用対策の充実を図っています。男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法の施行により、労働者を取り巻く環境にも新たな動きが始まっています。男女のパートナーシップの推進により、勤労者が働きやすい環境づくりや、男女共同参画社会の構築を目指しています。



V. やすらぎと潤いのある村づくり



キャベツ畑と浅間山



消防団活動(パトロール)



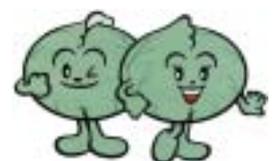
消防団活動(放水訓練)

嬭恋村が住みやすい理由として、自然に恵まれていることや、人間関係のよさがあげられます。四季を通して多くの観光客が訪れ、浅間高原を中心としたリゾート地域には、およそ9000戸の別荘があり、近年では週末住宅としての利用だけではなく定年退職後の永住地としても注目されています。

嬭恋村は、浅間山、吾妻山(四阿山)、本白根山など日本を代表する2,000m級の山々に囲まれ、緑豊かな素晴らしい自然や温泉に恵まれています。本村は、今も活動を続ける浅間山と草津白根山という2つの火山が、温泉や広大な高原地帯という大きな恩恵を与えています。

しかしながら一方では、噴火による大災害の源にもなりかねません。防災対策として、国、周辺市町村等の関係機関との連携を密にし、防災体制の強化を図っています。

緊急時の情報伝達手段として防災無線戸別受信機を各家庭に設置し、屋外スピーカーのみで行われていた放送が的確に伝わるようになりました。村のHPに浅間山火山情報を載せ、気象庁HPとリンクさせ詳細な情報提供も開始しています。

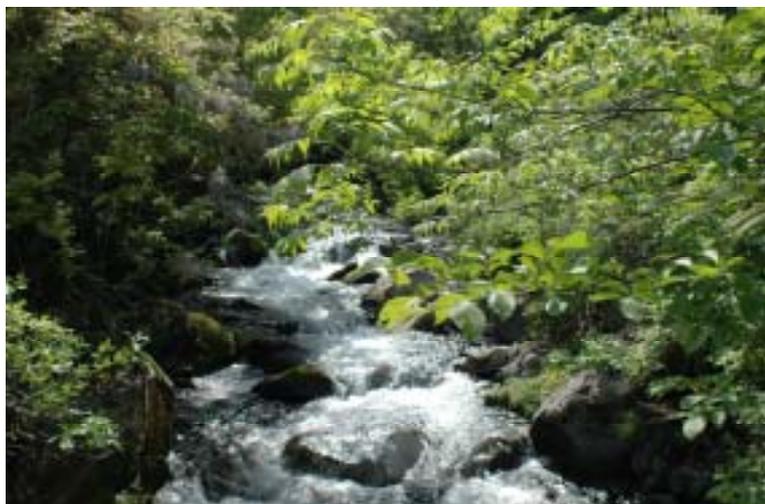




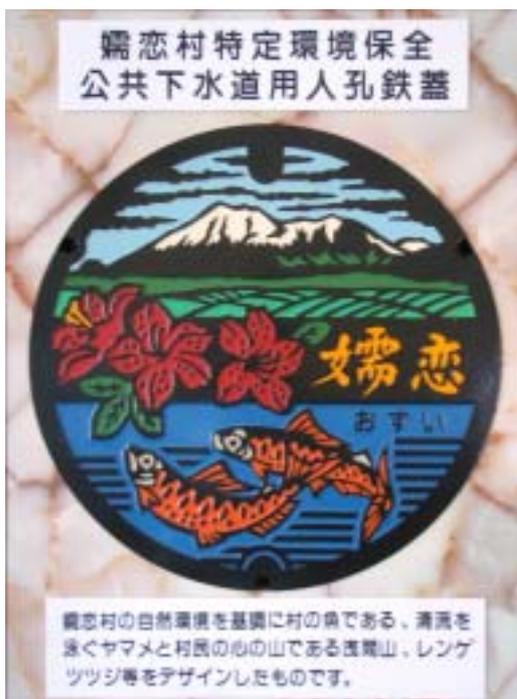
孺恋村運動公園

孺恋村の水道は、主に浅間高原の別荘地帯に供給している上水道1カ所、既存集落内の簡易水道19カ所、小水道2カ所に分類されます。安定した水の供給を維持するため、計画的に配水池および本管を整備拡充しています。

本村は、生活排水からの河川環境保全対策として、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び合併浄化槽の設置により、下水道整備を進めています。



孺恋村(バラギ高原)の清流



下水道マンホール



Ⅵ. 開かれた行財政を目指して



クリーン大作戦



広報つまごい



孺恋村ホームページ: <http://www.vill.tsumagoi.gunma.jp>

* 住民参加の村づくり

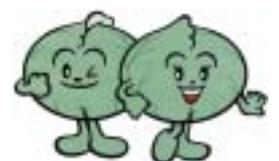
より良い村づくりのために、住民との連携はかせないものになっています。さまざまな行事や事業に住民が積極的に参加することで、行政と住民の信頼関係を保持し、自らの手で住み良い村をつくるという住民意識を高めていく必要があります。

ボランティア活動や住民組織の自主的な活動を支援し、住民主体の村づくりを進めています。

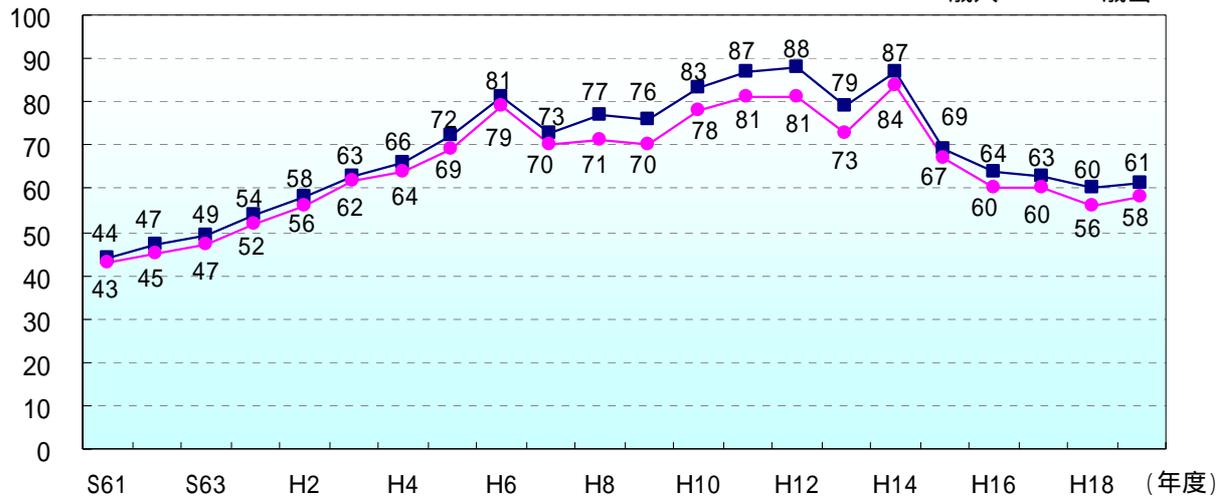
* 情報公開と個人情報保護

孺恋村では、公文書公開条例、個人情報保護条例が制定されており、積極的に情報を公開しながらも守るべき個人の情報については保護しています。

住民への情報提供の手段として、広報誌、防災無線、ホームページなどを活用しています。



(億円) 歳入・歳出決算額の推移



* 自主自立の行政運営・計画的な財政運営

社会情勢の変化により、地方自治体は自主性・自立性が求められ、自己決定・自己責任が必要とされています。簡素で効率の良い行政を目指し、職員の人材育成、事務改善等をおこなっています。また、本村の財政は大変厳しい状況にありますが、財政健全化計画のもと、計画的な財政運営に努めています。



* 広域連携

本村は吾妻広域町村圏に属し、広域的な連携により消防や生涯学習施設などの整備や介護保険認定審査会でも共同事務処理により効率化を図っています。西吾妻地域においては、ゴミ処理施設や西吾妻福祉病院などの整備がおこなわれています。また、隣接する長野県側の市町村に住民の生活圏が広がっており、火山災害等の対応について相互協力を図っており、今後もさらなる連携が必要とされています。

